

①アセサイド 6%消毒液 使用前の濃度確認の重要性について

当社製内視鏡洗浄消毒装置を使用される際には、アセサイドチェッカーもしくはポータブル濃度チェッカー（PC-8000）を用いて、アセサイド実用液が実用下限濃度（過酢酸濃度 0.2%）以上であることを確認してからご使用いただくようお願いいたします。

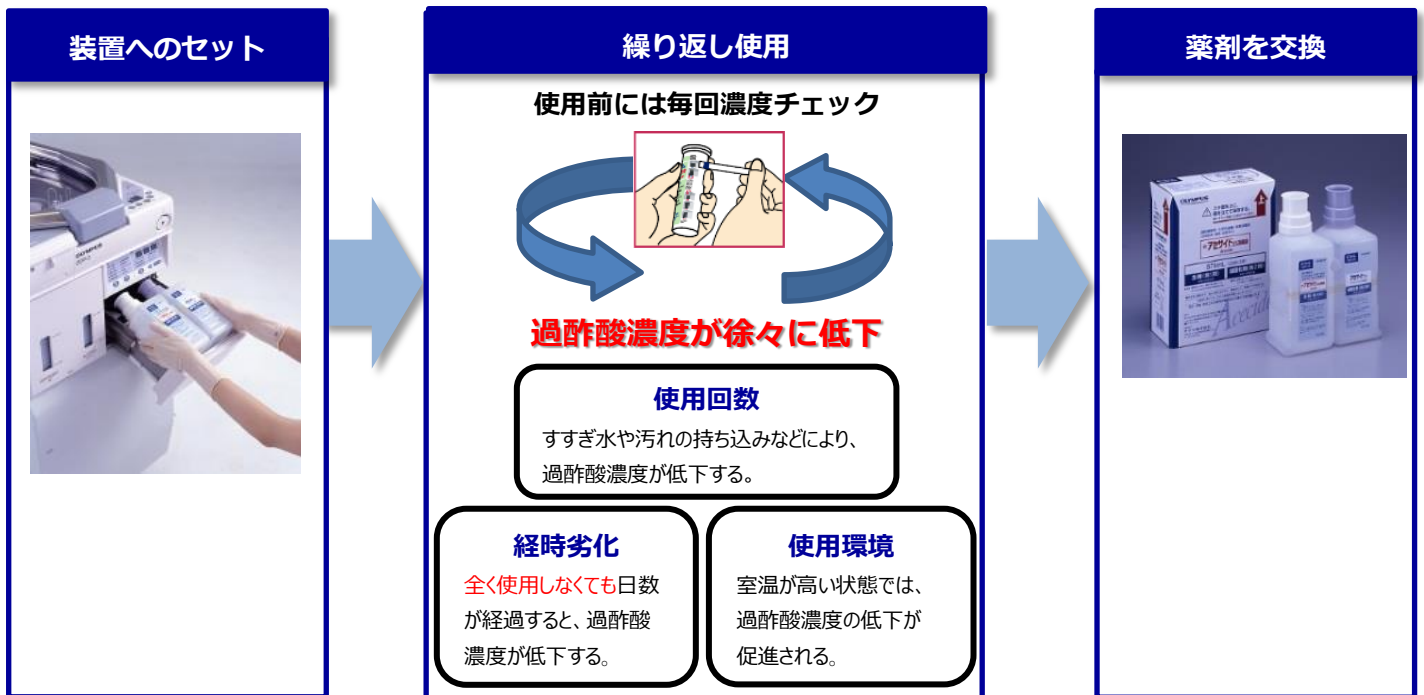
なぜ 使用前に消毒液の濃度測定が必要なのですか？

アセサイド実用液は、繰り返し使用する間に徐々に過酢酸濃度が低下していきませんが、その低下スピードは、使用回数や使用環境により一定ではありません。

また、洗浄消毒機能を全く使用しない時でも、経時変化で過酢酸濃度は低下します。

もし、内視鏡洗浄消毒装置の使用時に、実用下限濃度（過酢酸濃度 0.2%）を下回っていた場合、内視鏡の消毒が不十分となってしまいます。

そのため、使用前には毎回濃度測定を行い、アセサイド実用液に有効性があることを確認していただくようお願いしております。



【参考】各種保存温度における実用液の過酢酸濃度の経時変化

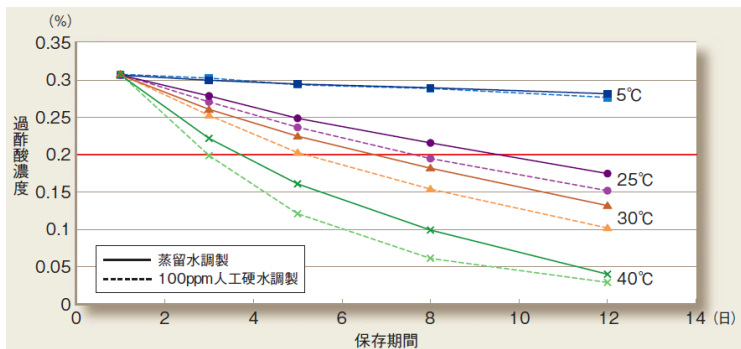


図4 各種保存温度における実用液の過酢酸濃度の経時変化

(引用元) サラヤ HP アセサイド 6%消毒液『製品情報 PDF』

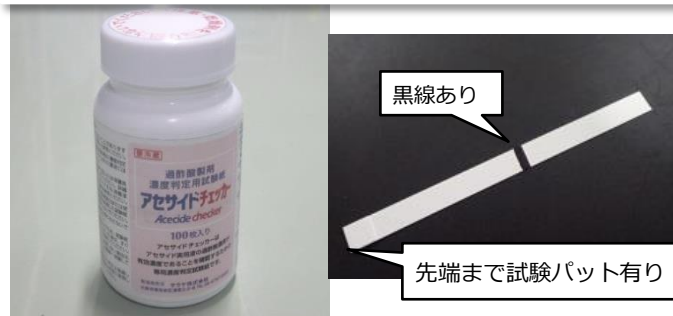
アセサイドチェッカー

アセサイド実用液の過酢酸濃度が、実用下限濃度（過酢酸濃度 0.2%）以上であることを確認するための専用試験紙です。用紙に反応薬を含浸させたもので、アセサイド実用液に反応して変色します。過酢酸濃度により変色の度合いに差が生じるため、その変色の度合いを判定例と照合することで、薬効判定を行ないます。

仕様変更前のアセサイドチェッカー



仕様変更後(現行品)のアセサイドチェッカー

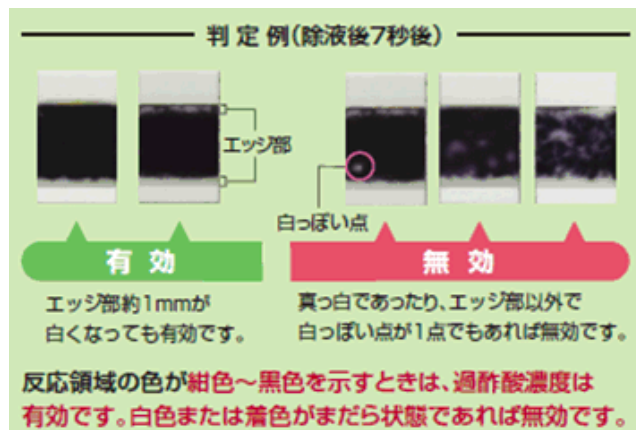


POINT

チェッカーの仕様によって、**判定例が一部異なります**（下記参照）

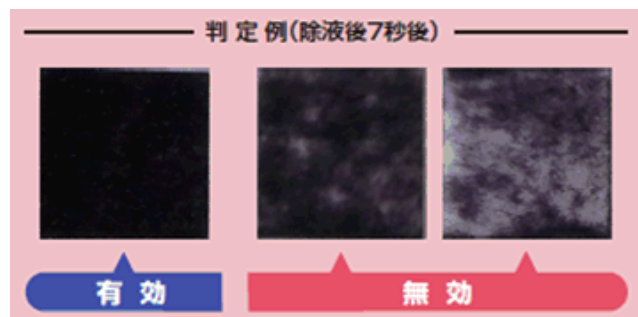
仕様変更前のアセサイドチェッカー

エッジ部が白くなるため、慎重な判定をお願いしていました。



仕様変更後(現行品)のアセサイドチェッカー

エッジ部がなくなり、反応領域が全て黒くなれば有効、少しでも白くなれば無効です。



ポータブル濃度チェッカー PC-8000

アセサイド実用液の過酢酸濃度が、実用下限濃度（過酢酸濃度 0.2%）以上であることを、デジタル表示にて確認するための専用濃度測定器です。反応薬を充填した専用の試薬セルと、アセサイド実用液を採取するマイクロピペットをセットで用います。過酢酸濃度を小数点3桁までデジタル表示します。



判定例

「PASS」の表示と、その横に 0.2%以上の数値が出れば有効です。「FAIL」の表示と、その横に 0.2%未満の数値が出れば無効です。